



上野西部地区 平成 30 年 11 月末 人口 3,263 人
世帯数 1,525 (男 1,579 女 1,684 人)

俳聖殿

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。

上野西部地区の皆様には心も新たに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年は上野西部地区住民自治協議会の諸行事に格別のご協力とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。本年もよろしくお願い致します。本年は亥年。亥年は十二支の最後の年『植物の生命の力が種子の中に閉じ込められている状態』と言われております。この一年更なる発展に向けエネルギーを蓄え、災害に備え、安心・全で、健康に過ごせます様、皆様のご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが皆様方お一人おひとりが幸多い年となられますことをご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



上野西部地区住民自治協議会 会長 八尾光祐

上野西部地区防災訓練

防災・防犯・交通安全部会

12 月 9 日（日）、毎年恒例になりました上野西部地区防災訓練が上野西町の安立寺駐車場にて行われました。本年は先に各自治会に配布してありましたトランシーバーを使い避難所に見立てた安立寺駐車場に地区民が集合しました。訓練は伊賀市消防本部中消防署と上野中分団第二部の消防団の皆さんにご指導いただいて起震車体験、消火器の使い方体験、煙体験、心肺蘇生の 4 つの訓練を実施しました。



起震車体験

東町ポケットパーク問題

質問書提出と回答書

総務・広報・人権部会

11月8日(木)、上野西部地区市民センターにて上野東町ポケットパーク整備工事のための設計にかかる伊賀市の説明会が開かれました。その会場において今回のような地元説明会開催時点ですでに伊賀市議会に上程可決され、設計も済、工事の入札日程も決められているのは地元としては納得できないとの発言があり紛糾しました。その後、上野西部自治協ではいろんな疑問点等を質問書として伊賀市に提出し12月10日に回答書を頂きました。以下その主なものを紹介します。

太字は質問、細字は回答です

問) ハイトピア伊賀にトイレは設置されているにもかかわらず、隣接する場所にトイレ設置とする意味、根拠はあるのか？

ハイトピア伊賀 1, 2 階のトイレは、伊賀市ではなく、各区分所有者の方が管理されるトイレで、ハイトピア伊賀利用者のために設置されているものです。また、所有者の意向により公衆トイレとして観光客を含めた来街者への案内を積極的に行えないことや、特にイベント時や観光シーズンにおける公衆用トイレの不足についての対策としても必要と判断したためです。伊賀市として廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条第6項に規定する公衆トイレを設置し、今後、まちなかの回遊性をさらに向上し、まちなかへの誘客によって中心市街地の活性化を図るためにも必要であると考えます。

問) トイレ設置はハイトピア伊賀前のコインパーク内等観光客や伊賀鉄道・車で訪来者に対しより多くの利便性、活用性高い場所があるのではないのか？

マイカー利用での来街者向けには上野公園前トイレ、銀座中央駐車場トイレ、伊賀鉄道利用者向けには上野市駅構内トイレ、バス利用者向けにはハイトピア伊賀1階トイレなど既存のトイレがありますが、上野東町ポケットパークのトイレは歩きたくなる



トイレの外観案

まちづくりを目指したまちなかの回遊性向上を目的としており、それぞれのトイレがあることによって全体としてまちなかの利便性が向上すると考えます。

問) 平成29年8月の地元自治会説明会での意見・要望に対し、対応は協議したのか？

平成29年8月29日の説明会を含め、お聞かせいただきましたご意見は庁内で共有しており、可能な限りご意見を施設整備に反映してきました。

問) 協議したなら内容はどのようなことであつたか

いただきましたご意見を基に、特に臭気、防犯対策について庁内で協議し、施設整備に反映するよう進めています。

問) 今回の説明会をすべてが決まってから行ったのは何故か

トイレを含むポケットパーク整備事業をすすめることについて随時説明させていただいております。平成30年11月8日の説明会は、設計が完了したことから、設計内容をご説明し、今後の施設管理等に関してご意見をいただくことを目的に開催させていただいたものです。

問) 公共施設である以上建設する地盤の地域の承諾は必要ではないのか。

自治基本条例に規定する同意事項の対象となる公共施設建設は、住民生活に重大な影響が及ぶと考えられるものが対象であり、今回の施設は同意事項の対象ではありませんが、防犯面など地域住民の方が懸念される事項については可能な限り対策を行ってまいりたいと考えます。

回答の一部は省略しています。詳しくは西部自治協のホームページを参照下さい。

おもちつき大会

健康・福祉・スポーツ部会

12月2日(日)年末恒例のおもちつき大会が上野西部市民センターで開催されました。



午前10時、佐藤部会長の開会挨拶の後、もちつき開始。石臼は大小2種類用意され、部会員の手を借りながら、小さい子たちは家族と一緒に『よいしょ！・ヨイショ！』と掛け声に合わせて杵を下します。高学年になるとそれは、手慣れたフォームで力強く杵を下します。早速つき上がった餅で、ぜんざいをいただき、室内で、きな粉餅・あん餅など、思い思いのお餅を家族一緒に作りました。穏やかな冬日和のなか幼児から年配の方まで、子

供49名を含む120名余りの参加となり、地域の親睦と世代間交流が行なわれました。

伊賀 City マラソン

11月25日(日)伊賀上野シティマラソンが開催されました。参加者は2,700人余りで、小学生から90歳のランナーが、それぞれハーフ・10キロ・5キロ・3キロ・ファミリージョギングのコースで、快晴の空の下、沿道の地域住民の声援を受けながら、街中を駆け抜けました。交通整理や、警備、スタッフの皆様、声援を送られた沿道の皆様ご苦勞様でした。



人権パネル展



11月27日～12月7日 人権パネル展が西部市民センターロビーで開催されました。同和問題・障がい共生を学ぶ・子供の権利・平和を求めてのパネルが展示され、来館者やサークルの人達が足を止めていました。今年は世界人権宣言70周年で、12月4日～10日は「人権週間」世界人権宣言の趣旨、重要性を訴え、人権尊重思想の普及を図るため、啓発活動を行っています。伊賀市では12月9日に「人権を考える市民の集い 2018」が、伊賀市文化会館で

開催されました。「思いやりの心」や「かけがえのない命」について、考えてみましょう。

モナミ展 開催

12月1日(土)～2日(日)キルトサークル「モナミ展」がハイトピア伊賀3階ホールにて開催されました。会場には会員の作品が数多く展示され、多くの見学者が訪れ、サークルメンバーと歓談されました。キルトサークル「モナミ」は毎週水曜日午前に西部市民センターで活動しています。



金曜句会

平成三十年十二月吟

主なき屋敷の庭に柿たわわ

宮本善夫

星流る夜も茎漬の水湧き来

川口登子

なばりゆく

隠宿蕎麦屋の暖簾冬日射す

岡森競一

雪催ひ鳥屋の神鶏高鳴かず

谷本まさ子

杯を交し新酒を飲みくらぶ

三山隆一

山蓋ふメガソーラーや片時雨

鈴木明美

注連作る観世の森や四十雀

永井みよ

俳画サークル

福聚



お知らせ

- 1月 6日(日) 伊賀市消防団出初式 ゆめドーム
- 1月 13日(日) 崇広中学校区成人式 ハイトピア
- 1月 19日(土) 久米川排水セミナー ゆめぼりす
- 1月 26日(土) 人権地区懇談会 西部市民センター
- 1月 27日(日) ボウリング大会 にんにんボウル
- 2月 9日(土) 人権落語会 交遊亭 楽笑さん
西部市民センター

せいぶだより 自治協と公民館広報誌

第6号 平成31年1月1日

発行 上野西部公民館

上野西部地区住民自治協議会

総務・広報・人権部会

住所 伊賀市上野福居町 3330-1

電話 0595-23-9779 [http:// www.uenoseibu.com/](http://www.uenoseibu.com/)